

お国自慢



新明和工業(株)

小山広域保健衛生組合
野木町

水と緑と人の和でうるおいある町(野木町) 南部清掃センター

1. はじめに

野木町は栃木県の最南端に位置し、茨城県と接している南の玄関口として、急速に発展しています。JR 宇都宮線や国道 4 号線により、首都圏へは約 60 キロメートル、宇都宮市へは約 40 キロメートルの場所に位置しています。

地形は平坦で、気候は温暖、地味も肥沃と、気候風土ともに恵まれています。このような条件のもと、米・麦・果樹・施設園芸などの農業が盛んです。一方、交通の便利さから、住宅が急増し、ベッドタウン的色彩が見られます。また、町南部には野木工業団地があり、町東部には民間開発の野木東工業団地があります。

さらに、国の重要文化財に指定されている野木町煉瓦窯や渡良瀬遊水地などの豊かな自然があり、夏には「ひまわりフェスティバル」が盛大に開催されます。フェスティバル会場には約 20 万本、町全体で 100 万本のひまわりが咲き誇り、まちの風物詩になっています。

2. 施設の特長

本施設は、小山市、下野市、野木町のプラスチック製容器包装と剪定枝を処理・資源化する「容り法対象ビニプラ施設」と、野木町の生ごみを堆肥化する「生ごみ等リサイクル施設」から構成されます。平成 28 年 3 月に竣工し、新聞、雑誌、ダンボールなど可燃系資源物の保管施設である既設ストックヤードとともに、同年

4 月から供用を開始しました。



南部清掃センター

主な施設の特長は以下の通りです。

①環境への配慮

各施設での処理工程から発生する臭気は、発生源でのフードによる直接捕集と脱臭設備(酸アルカリ洗浄、活性炭脱臭装置)を設けています。また、建物を密閉構造とすることで、臭気の漏洩、拡散を防止しています。

- ・各施設から発生する粉じんは、発生する箇所には捕集用フードを設け、直接捕集を行い、周辺環境や作業環境に配慮した対策を行っています。
- ・各施設から発生する排水は、窒素除去、膜分離活性処理を主体とする排水処理設備で高度処理を行います。また発生する排水の一部を施設内で循環処理しています。

②開かれた施設

研修や視察の受入を行い、リサイクルに対する理解促進と啓蒙活動を行っています。施設見学は、「回収されたごみがどのように処理されるのか」を知る展示だけではなく、「見る・聞く・触れる」など、五感を活かした見学体験をしていただけます。

3. 施設概要

施設名称：南部清掃センター

所在地：栃木県下都賀郡野木町大字南赤塚
1513-2

敷地面積：約 15,800m²

床面積：容り法対象ビニプラ施設／
約 3,300m²

生ごみ等リサイクル施設／約 1,600m²

研修施設及び管理棟／約 290m²

可燃系資源ストックヤード／約 490m²

処理能力：プラスチック製容器包装／

21 t / 日 (5 時間)

剪定枝／ 9.4 t / 日 (5 時間)

生ごみ／ 4.1 t / 日 (5 時間)

建設工期：平成 26 年 4 月～平成 28 年 3 月

事業主体：小山広域保健衛生組合

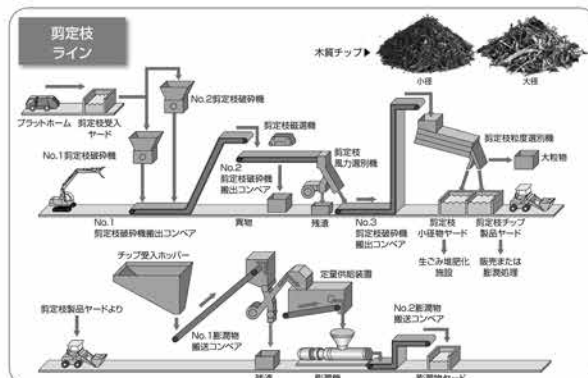
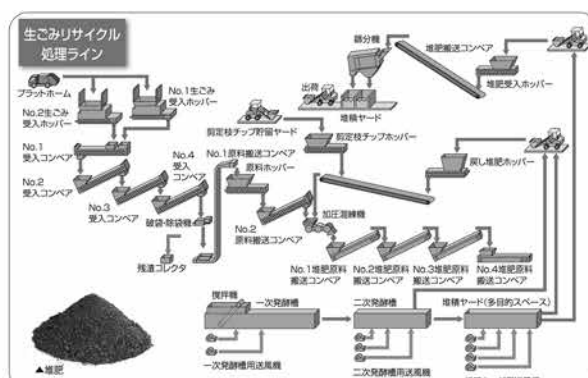
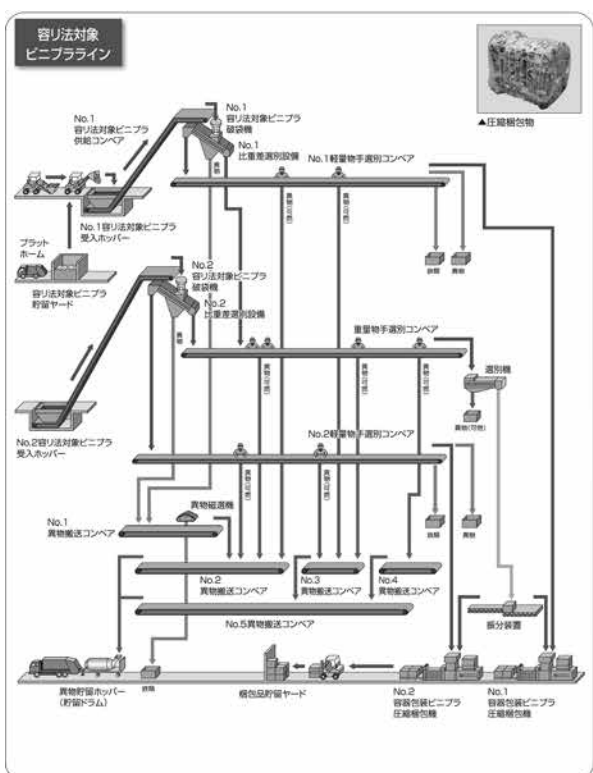
施工監理：パシフィックコンサルタンツ (株)

設計施工：新明和・浅沼・板橋特定建設工事共同企業体

運営：のぎエコセンター (株)



研修施設及び管理棟の外観



施設フローシート

野木町の紹介

◇野木神社

平安時代に坂上田村麻呂が蝦夷討伐に成功し、祈願成就のお礼として社殿を新築、現在の場所に定めたと伝えられています。その際に植樹されたのが、町指定の文化財でもある大イチョウで、秋には黄金に輝き見事です。

旧郷社の格式を持つ神社であり、旧寒川郡内の七郷を神領としていました。その七郷巡りの際、各郷の裸男が精進潔斎し、手に提灯を持ってぶつかり合い神霊を迎えたり送ったりしたのが約 800 年の歴史を誇る野木神社の奇祭「提灯もみ」です。参道で竹竿の先に提灯を付け、これに火を灯して互いにおつけあい、消し合ったりする祭りとなっています。境内では太々神楽も披露されます。

◇野木町煉瓦窯

明治の近代化に伴い、日本の煉瓦建築を支えた野木町煉瓦窯は、赤煉瓦焼成用のホフマン式輪窯。現存するホフマン窯のなかでは唯一原型をとどめて保存されており、昭和 54（1979）年に国の重要文化財に指定されています。煉瓦窯内は、ボランティアガイドの解説付き見学ツアーとなっており、煉瓦窯の成り立ちや、仕組みについて学ぶことができます。



野木神社



煉瓦窯

◇野木ホフマン館

野木町煉瓦窯に隣接して、野木ホフマン館（野木町交流センター）が、平成 28 年 5 月にオープンしました。野木町ならではの体験や、自然と歴史の展示室も見学できます。レンタサイクルなど、野木町観光の中心として、地元の人と観光客との交流の場となっています。敷地内には、「こびとカフェ@陽だまりレンガ広場」という地産地消をテーマにしたカフェレストランがあります。名物メニューは、本格窯で焼き上げる窯焼きピッツァや野菜をたっぷり使った煉瓦サンドなど。夏にはビアガーデンも開催されます。町内 3 つのサイクリングステーションのひとつとなっており、町内サイクリングのほか渡良瀬遊水地も近く、野木町の魅力を体感できます。

◇ひまわりフェスティバル

「花とレンガのまち、野木町」夏の風物詩である「ひまわりフェスティバル」は、約 20 万本のひまわりが咲き誇るなかで開催され、町外からもたくさんの人が訪れる人気のイベントです。約 4.3ha の敷地に、約 20 万本のひまわりの作付けを行うほか、ひまわり大迷路、ふれあい模擬店、打ち上げ花火、有名歌手による歌謡ショーや子供向けキャラクターショーのイベントも行われます。



ホフマン館



ひまわりフェスティバル

写真出典：野木町WEBサイト